

# News Release

 日本ジェネリック株式会社

2024年4月1日

日本ジェネリック株式会社

各位

## 日本ジェネリック つくば工場から排出される汚泥の マテリアルリサイクルに関するお知らせ

日本ジェネリック株式会社(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:井上祐弘)は、このたび、当社つくば工場において、ジェネリック医薬品の製造工程で発生する汚泥のマテリアルリサイクル(再生利用)を開始することをお知らせいたします。

この取り組みは、産業廃棄物処分事業者であるオリックス資源循環株式会社(本社:東京都港区、代表取締役社長:有元健太郎)の協力を得て行うものです。

これまで製造工程で発生した汚泥は産業廃棄物として排出され、中間処理施設で焼却したのち、最終処理施設において残渣を埋め立てておりましたが、この度オリックス資源循環において導入している技術と設備を活用し、廃棄物から発生したガスを熱分解ガス化改質方式により再資源化(ケミカルリサイクル)するとともに、乾燥・熱分解したのち溶融した廃棄物はスラグ・メタル・金属水酸化物などに分離・回収され、路盤材などに再利用(マテリアルリサイクル)することが可能となりました。

昨年度当社つくば工場から排出された汚泥30トンのうち、焼却処理後の残渣9トンを埋め立て処理しておりましたが、今回のリサイクルにより約85%がガス化によるケミカルリサイクル、約15%がスラグ・メタル・金属水酸化物などのマテリアルリサイクルとなることで、焼却灰や飛灰を一切発生させず、埋め立て処分量は0となり、完全に再資源化することとなります。



汚泥(錠剤・粉体・PTPシートなど)



溶融時発生するガス(発電用燃料として利用)



乾燥・熱分解後の廃棄物(路盤材等に利用)

日本ジェネリックでは、今後も環境に配慮した生産活動・研究活動の推進と製品の提供を通じて、地球環境の保護に貢献することを目指します。

【日本調剤グループについて】 <https://www.nicho.co.jp/brand/>

日本調剤グループは、すべての人の「生きる」に向き合う、という揺るぎない使命のもと、調剤薬局事

業を中核に、医薬品製造販売事業、医療従事者派遣・紹介事業、情報提供・コンサルティング事業を展開する、多様な医療プロフェッショナルを擁したヘルスケアグループです。医療を軸とした事業アプローチによる社会課題解決を通じて持続可能性を追求し、すべての人の「生きる」に貢献してまいります。

**【日本ジェネリック株式会社について】** <https://www.nihon-generic.co.jp/>

日本ジェネリックは、日本調剤株式会社（東証プライム上場）の100%出資により「優れた医薬品をもっと広く、もっと身近に」を企業理念として発足しました。

その特長は、日本調剤が培ってきた医療・医薬業界での実績と信頼を<sup>いしづえ</sup>礎として、医薬品処方<sup>いしづえ</sup>の現場における患者さまの声や医療従事者のさまざまなニーズを把握して、ジェネリック医薬品の研究・開発を進めています。日本ジェネリックでは、高品質なジェネリック医薬品を安定的に供給し続けることにより、患者さまの安心や負担軽減のみならず、<sup>ひっばく</sup>逼迫する国の医療費低減にも貢献すべく製品開発・供給に取り組んでまいります。

**【本ニュースリリースのお問い合わせ先】**

日本ジェネリック株式会社 人事総務部

TEL: 03-6810-0501

E-Mail: [soumu@nihon-generic.co.jp](mailto:soumu@nihon-generic.co.jp)

弊社のホームページにも掲載しております。  
<https://www.nihon-generic.co.jp/>

※本リリースは本町記者会でも同時に発表しております。